

2 教育委員の自己点検及び評価

【教育委員の主な活動】

(1) 教育委員会会議の開催状況

年度	開催日	議題等件数	出席委員数 (教育長を除く)	会議に付した主な案件
R4	4月25日	8	5	令和4年度大阪府教育庁の運営方針について、大阪府学校教育審議会に対する諮問事項について、令和5年度大阪府公立学校入学者選抜方針等について、令和5年度大阪府立学校校長及び公立小・中・義務教育学校任期付校長の公募選考について、令和3年度(令和4年1月1日以降同年3月31日まで)における教職員の懲戒処分の状況について、教育庁職員の懲戒処分について、新型コロナウイルス感染症に係る対応について、堺市立の中学校における大阪府公立高等学校入学者選抜の資料となる調査書評定の記載誤りについて
	5月17日	3	5	知事からの意見聴取について、令和5年度使用府立学校教科用図書採択要領及び令和5年度使用高等学校教科用図書選定の手引きについて、新型コロナウイルス感染症に係る対応について
	6月30日	5	5	知事からの意見聴取に対する回答の承認について、令和3年度検定合格高等学校教科用図書の調査研究結果について、特別支援学校(小・中学部)等で使用する教科用図書の選定資料について、もと府立西淀川高校を活用した新たな知的障がい支援学校の開校に伴う通学区域割の変更について、新型コロナウイルス感染症に係る対応について
	8月29日	7	5	令和3年度教育行政に係る点検及び評価結果の報告について、大阪府立学校条例及び大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画に基づく令和4年度実施対象校(案)について、府立高等学校における令和5年度使用教科用図書の採択について、府立中学校における令和5年度使用教科用図書の採択について、府立支援学校における令和5年度使用教科用図書の採択について、大阪府学校教育審議会工業教育部会の中間報告について、新型コロナウイルス感染症に係る対応について
	9月26日	3	5	知事からの意見聴取について、令和4年度(令和4年4月1日以降同年8月31日まで)における教職員の懲戒処分の状況について、新型コロナウイルス感染症に係る対応について
	11月8日	5	4	大阪府立学校条例及び大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画に基づく令和4年度実施対象校について、令和5年度大阪府公立高等学校の募集人員について、令和5年度大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科(本校)及び大阪府立高等学校に設置する共生推進教室の募集人員について、令和4年9月定例府議会提出予定の追加議案について、新型コロナウイルス感染症に係る対応について

教育委員の自己点検及び評価

	12月5日	6	5	知事からの意見聴取に対する回答の承認について、議会からの意見聴取について、大阪府立中学校入学者選抜における適性検査「英語」の導入について、第2次大阪府教育振興基本計画（素案）の検討状況について、大阪府学校教育審議会の答申について、新型コロナウイルス感染症に係る対応について
	12月23日	2	4	「府立高等学校再編整備方針（令和5年度から令和14年度）（案）」について、大阪府立中学校入学者選抜における適性検査「英語」の導入について
	1月23日	8	5	「府立高等学校再編整備計画（令和5年度から令和9年度）（案）」について、令和5年度「府立学校に対する指示事項」及び「市町村教育委員会に対する指導・助言事項」について、公立小・中学校の学級編制基準の改正について、令和5年度公立小・中・義務教育学校、高等学校及び特別支援学校教職員定数の配分方針について、教職員数管理目標の設定について、令和4年度文部科学大臣優秀教職員表彰について、令和4年度第2学期（令和4年9月1日以降12月31日まで）における教職員の懲戒処分の状況について、新型コロナウイルス感染症に係る対応について
	2月15日	3	5	知事からの意見聴取について、教員の働き方改革の取組みについて、新型コロナウイルス感染症に係る対応について
	3月28日	3	5	「府立高等学校再編整備方針（令和5年度から令和14年度）」及び「府立高等学校再編整備計画（令和5年度から令和9年度）」について、令和6年度大阪府公立学校入学者選抜方針等について、新型コロナウイルス感染症に係る対応について
合計	11回	53	53	

(2) 教育委員意見交換の開催状況

年度	開催日	出席委員数 (教育長を除く)	意見交換を行った主な案件
R3	4月25日	5	大阪府の将来に向けた募集学級数のあり方等検討会議 等
	5月17日	5	教科書採択に向けたスケジュールおよび調査研究について 等
	6月30日	5	大阪府教育振興基本計画について 等
	7月25日	5	令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について 等
	8月29日	4	大阪スポーツ賞・大阪府知事表彰について 等
	9月26日	5	令和4年度すくすくウォッチ結果概要について 等
	10月24日	5	多様な教育実践校 概要説明、いじめ重大事態案件 報告 等
	12月5日	5	府立高校再編整備計画(案)について 等
	1月23日	4	R5年度教育庁当初予算案の概要 等
	2月15日	4	府立学校入学者選抜・採点業務デジタル化事業について 等
合計	10回	47	

(3) その他

活動内容	回数	延べ出席委員数（教育長を除く）
学校等視察（中学校生徒会サミット、2022多文化共生フォーラム、GLHS 合同発表会 等）	16	29
議会への出席（教育常任委員会 等）	5	7
選考会議等での審査員（学校経営推進費選考、公募校長面接）	5	5
表彰式（文化の日表彰、優秀教職員等表彰）	2	4
各種会議、式典への参加（全国都道府県教育委員会連合会、市町村教育委員会教育長会議 等）	7	9

令和4年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【竹若洋三教育委員】（平成27年6月2日就任）

教育委員会会議における取組み（主な発言の内容） 【会議出席 11回】

【令和3年度教育行政に係る点検及び評価結果の報告について】（基本方針1、2、6関係）

*令和4年8月29日開催の教育委員会会議

- ・小中高一貫した英語教育、英語力の向上をめざすには教員の養成が必要。小学校、中学校、高等学校の教員が教育センターに一堂に集まるなどして、組織的な研究を続けるよう提言。

【第2次大阪府教育振興基本計画（素案）の検討状況について】（基本方針1、2関係）

*令和4年12月5日開催の教育委員会会議

- ・第2次大阪府教育振興基本計画について、「幼小中高と一貫とした」という文言が盛り込まれていることを評価。実施計画については、大阪府で育った子ども達の一貫した教育を強く打ち出すよう要望。

【令和5年度「府立学校に対する指示事項」及び「市町村教育委員会に対する指導・助言事項」について】（基本方針1、2、7関係）

*令和5年1月23日開催の教育委員会会議

- ・府教育委員会から出ている指導・助言事項について、市町村教委がどのように受け止め各所管校への指導に活かしているかを把握するべきと提言。

【知事からの意見聴取について】（基本方針2、5、6、7関係）

*令和5年2月15日開催の教育委員会会議

- ・合同部活動について、どのようなメリットが生まれるか、教員の負担軽減にどう繋がるかデータにより説明するよう要望。

【「府立高等学校再編整備方針（令和5年度から令和14年度）」及び「府立高等学校再編整備計画（令和5年度から令和9年度）」について】（基本方針2関係）

*令和5年3月28日開催の臨時教育委員会会議

- ・府立高校の学校配置の考え方について、5年後、10年後の状況を推測し、数を減らすことだけでなく、学校の特色をどのように構築するかを検討し、府民、地域の方に理解してもらった上で、再編整備計画をつくるよう要望。

その他の取組み

【各種行事の視察等】（基本方針1、2、4、5関係）

*令和4年7月16日開催の「2022 OSAKA 多文化共生フォーラム」

・府内から集まった日本語指導が必要であったり、外国につながりがあったりする生徒たち（中学生・高校生）の交流の様子を視察。

*令和5年1月29日開催の「LETS 合同発表会」

・アウィーナ大阪で開催された発表会で、LETS（国際関係学科を設置する府立高等学校）代表生徒によるSDGsに関する課題研究の成果発表を視察。

*令和5年2月11日開催の「おおさか子ども EKIDEN 大会」

・ヤンマーフィールド長居で開催された大会で、府内の小学校4・5・6年生27チーム、275名が参加する駅伝大会を視察。

【その他】

*大阪府議会への出席 5回（教育常任委員会 5回）

*総合教育会議への出席 3回（知事との総合教育会議 2回、部活動テーマの総合教育会議）

*各種会議への出席 5回（市町村教育委員会教育長会議、全国都道府県教育委員会連合会 等）

*表彰式への出席 2回（文化の日表彰式 等）

自己点検及び評価

第二次大阪府教育振興基本計画策定の段階で、第一時期の反省から、次の点について充実するよう助言に努めた。

1. 幼児教育・小学校・中学校・高等学校の一貫した教育の振興の充実。
2. 英語教育について、学校現場の取り組み状況の把握に努め、発達年齢に合った学習到達目標の設置。
3. 英語指導担当教員の指導力向上について、小・中・高等学校の関係教員の系統的・計画的・継続的な研修の実施。
4. 小学校・中学校の学力向上については、現行のすくすくウォッチ、チャレンジテストの結果の活用を再度各市町村教育委員会や学校現場と連携し、授業改善をはじめ教員の指導力・問題作成能力の向上等、効果の高い方策を早急に示す。

令和4年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【井上貴弘教育委員】（平成25年10月1日就任）

教育委員会会議における取組み（主な発言の内容） 【会議出席 10回】

【令和4年度大阪府教育庁の運営方針について】（基本方針6、7関係）

*令和4年4月25日開催の教育委員会会議

- ・教員という職業が「充実した仕事で働きがいがある」「自身の生活も非常に充実したものになる」という環境を整備していくことが大事で、今後議論を深めていきたいと提言。

【令和3年度教育行政に係る点検及び評価結果の報告について】（基本方針6関係）

*令和4年8月29日開催の教育委員会会議

- ・子どもの能力を伸ばすために、教員が論理的にものを考えるロジカルシンキング、クリティカルシンキングを学ぶなど、能力を上げていくことが大事。論理的に物事を考えていくことで合意がとりやすくなり、働き方改革にもつながると提言。

【大阪府立中学校入学者選抜における適性検査「英語」の導入について】（基本方針1、2関係）

*令和4年12月23日開催の臨時教育委員会会議

- ・アドミッションポリシーが提示された上での、英語の適正検査を評価。さらに、リスニングだけでなく筆答（記述）等の内容も加えるよう提言。

【教職員数管理目標の設定について】（基本方針6、7関係）

*令和5年1月23日開催の教育委員会会議

- ・優秀で志のある教員確保に向けて、府立学校の教員の負担についてシミュレーションをし、コスト意識をもって効率化の議論を進めるよう提言。

【知事からの意見聴取について】（基本方針2、7関係）

*令和5年2月15日開催の教育委員会会議

- ・デジタル採点の導入によって、教職員の負担がどれだけ軽減されるのかシミュレーションを行い、時間数を府民に示すよう要望。

その他の取組み

【各種行事の視察等】（基本方針1、4関係）

*令和4年7月16日開催の「2022 OSAKA 多文化共生フォーラム」

・府内から集まった日本語指導が必要であったり、外国につながりがあったりする生徒たち（中学生・高校生）の交流の様子を視察。

【その他】

*総合教育会議への出席 2回（知事との総合教育会議 2回）

*オンライン打ち合わせ（総合教育会議、次期教育振興計画、適正検査 英語導入 等）

自己点検及び評価

今期は引き続き、教員の働き方改革や採用について、問題提起を積極的に行った。昨年度と同様に、

- ① 教員の給与体系の見直し→「給特法」により、時間外手当が支給されないことの見直し
- ② 教員の業務範囲（部活動を含む）の見直し→「ここまでが教員の仕事である」という範囲の設定
- ③ 学校長の指導力の強化→学校の「長」である校長の権限の強化
- ④ 教員採用試験の選考方法や時期の見直し→民間企業の採用早期化への対応

の提言を行った。①に関しては、大阪府だけで解決できず、国を巻き込み、議論が活発化できるよう繰り返し提案した。また、②に関しては、前例を踏襲する感覚が教育委員及び教育委員会事務局の中にもあり、意識改革を促した。③に関しては、学校長の監督や指導に対する教員の受け止めが十分でない状況が残っており、そういった状況は学校組織の円滑な運営に支障をきたすと考えられるため、是正の提言を繰り返した。ただ、状況はあまり改善しておらず、引き続き、積極的に提言をして参りたい。④に関しては、優秀な人材が世界的に取り合いにあっており、それに対応した選考の方法や時期の見直しを早急にすべきであり、引き続き、検討を促したい。

また、教科書出版社の校正や文部科学省の検定を経ているにも関わらず毎年一部の教科書の見本本において、誤字や脱字が見受けられることについて、全国の都道府県の教育委員会で共通の課題として認識し対策を講じる旨の提言をしてきたが、この度、全国の都道府県の会議で議題として取り上げられたことは大きな前進だと考える。

さらに、教育行政全般にコスト感覚が欠如している事象が散見されている。業務の原資は税金であり、府民の皆さんの納得が得られる業務の効率化等の努力はまだ必要であるので、民間での知見を活かせるよう、引き続き、積極的に提言していきたい。

令和4年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【岡部美香教育委員】（平成28年10月1日就任）

教育委員会会議における取組み（主な発言の内容） 【会議出席 10回】

【知事からの意見聴取に対する回答の承認について】（基本方針2、9関係）

*令和4年6月30日開催の教育委員会会議

- ・ウクライナ避難民支援事業に関連して、少数言語を母語とする生徒へ、大学の留学生等のネットワークを活用して、孤独にさせないようにサポートするよう要望。

【令和3年度教育行政に係る点検及び評価結果の報告について】（基本方針4、9関係）

*令和4年8月29日開催の教育委員会会議

- ・申告がなくても深刻な問題を抱える保護者に対する支援である「アウトリーチ活動」の促進を提言。

【大阪府立学校条例及び大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画に基づく令和4年度実施対象校（案）について】（基本方針2、3、4、7関係）

*令和4年8月29日開催の臨時教育委員会会議

- ・令和6年度に「多様な教育実践校」に改編される西成高校・岬高校の取組みが、先進的な実践の事例として推進されるよう要望。

【令和5年度「府立学校に対する指示事項」及び「市町村教育委員会に対する指導・助言事項」について】（基本方針1、2、3、9関係）

*令和5年1月23日開催の教育委員会会議

- ・多職種連携や教育コミュニティ、家庭教育支援について、学校を支えていくために、教育庁、福祉、労働など府庁内での連携を深め、縦割り行政を改善するよう要望。

【教員の働き方改革の取組みについて】（基本方針6、7関係）

*令和5年2月15日開催の教育委員会会議

- ・教職員の退庁時間と退庁日を設けるといふことであれば、退庁後に何か起こったときの対応を決めておく必要があると提言。

その他の取組み

【その他】

*総合教育会議への出席（部活動テーマの総合教育会議）

*オンライン打ち合わせ（総合教育会議、次期教育振興計画、適正検査 英語導入 等）

自己点検及び評価

本年度は、体調を大きく崩してしまったために、会議への参加や学校視察などの活動を制限せざるを得なかったことを大いに反省している。次年度は、体調を整え、教育庁や府内の各学校の取組みについて視察や議論をする機会に積極的に参加したい。

限られた取組みのなかでも特に力を入れたのが、中学生・高校生のグローバル化である。グローバル化は、単に西洋化することや英語が話せるようになればよいだけでない。国際社会の問題解決に取り組むべく、さまざまな地域の人々と実質的な交流をすることが重要であり、中学校・高校時代には、語学力に加えて、そうした国際的な取組みや交流に参加するのに必要な知識と姿勢を身につけておく必要がある。この考え方のもと、**2023年3月18日と21日**に、「私たちの創る『誰一人取り残さない』未来の社会 プログラムⅠ『私たちが取り組むSDGs—日本から世界へ—』 プログラムⅡ『私たちが創りたい未来の社会—大人たちに提言—』」を開催し、大阪府内の中学校・高校で現在、取り組まれているSDGsの活動を世界に向けて発信する機会（日英同時通訳・手話同時通訳をつけて日本語で発信）とSDGsの取組みについて世界各国の高校生・大学生とともに議論する機会を設けた。この試みは、次年度以降も毎年継続されることになった。今後も、府立学校におけるSDGsの取組み、および「わくわく・ドキドキSDGsジュニアプロジェクト」に参加している中学校の取組みを、世界に向けて発信する機会を子どもたちに提供していきたい。この活動の一環として、**2025年**開催予定の大阪・関西万博で、子どもたちが世界各国の人々と交流する場を設定したいと考えている。

本年度、十分に取組みなかったのが教育と教育以外の領域（福祉、労働など）の連携促進の活動である。大阪府教育庁によるヤングケアラー調査の質問紙作成や回答分析には協力できたが、実際の取組みについて視察や議論をすることができなかった。多様な教育実践校（ステップスクール）の試みが始まることもあり、次年度は、西成高校、岬高校をはじめ、府内の学校における教育と教育以外の領域の連携促進に貢献できるよう努めたい。

令和4年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【中井孝典教育委員】（令和2年4月1日就任）

教育委員会会議における取組み（主な発言の内容） 【会議出席 11回】

【知事からの意見聴取に対する回答の承認について】（基本方針8関係）

*令和4年6月30日開催の教育委員会会議

- ・トイレを綺麗にすることで、荒れていた学校が落ち着きを取り戻したということもあるため、生徒の精神衛生のことを考えるとトイレの整備は重要であると提言。

【新型コロナウイルス感染症に係る対応について】（基本方針5、8関係）

*令和4年6月30日開催の教育委員会会議

- ・空調設備における最大需要電力の設定値を超える場合の対応について、教室内にて熱中症で生徒が倒れることがないよう要望。

【令和3年度教育行政に係る点検及び評価結果の報告について】（基本方針1、2、6関係）

*令和4年8月29日開催の教育委員会会議

- ・英語教育について、高校教員だけでなく、小中学校の教員に対しても目標設定をし、教員の向上心を支援する取り組みを検討するよう要望。

【第2次大阪府教育振興基本計画（素案）の検討状況について】（基本方針1、2、4関係）

*令和4年12月5日開催の教育委員会会議

- ・公平性、卓越性、多様性の3点を均等に踏まえた上での教育を徹底し、中学校、高校での子どもたちの能力をしっかりと伸ばす工夫を取り入れるよう要望。

【令和5年度公立小・中・義務教育学校、高等学校及び特別支援学校教職員定数の配分方針について】（基本方針1、2、3、4、6関係）

*令和5年1月23日開催の教育委員会会議

- ・不登校の生徒が増えているため、生徒たちがきちんと学べるよう、校長から丁寧なヒアリングをするよう要望。

その他の取組み

【各種行事の視察等】（基本方針1、2、4関係）

*令和5年2月4日開催の「グローバルリーダーズハイスクール（GLHS）合同発表会」

・大阪大学で開催された発表会で、生徒による人文科学、社会科学、自然科学の各領域に関する課題研究の成果発表を視察。

*令和5年2月12日開催の「SDGs ジュニアフォーラム 2022」

・大阪府教育センターで開催されたフォーラムで、府内の中学生が「すべてのいのちが輝くアイデア」をテーマにプレゼンテーションする様子を視察。

【その他】

*大阪府議会への出席 2回（教育常任委員会 2回） *総合教育会議への出席 2回

*各種会議への出席 2回（市町村教育委員会教育長会議、全国都道府県教育委員会連合会） *表彰式への出席 2回（文化の日表彰式 等）

自己点検及び評価

児童生徒はさまざまな資質や能力を有しており、児童生徒個々の興味や関心に応じて、その能力を最大限に伸ばす教育が必要であると考えている。配慮や支援が必要な児童生徒が増加している現状があり、誰ひとり取り残すことの無い社会をめざす教育を充実させることは当然最優先に取組むべきことである。しかし、一方では今後ますます世界はグローバル化するとともに、AIがさらに発展し、社会の構造や仕組みが大きく変化する予測が困難な時代の到来が予想される中で、世界をリードし、時代を切り開く優秀な人材を育成することも公教育の重要な責任であると認識している。令和4年度は、令和5年度から始まる第2次大阪府教育振興計画を審議した重要な年度であった。令和4年12月5日開催の教育委員会会議では「公平性、卓越性、多様性の3点を均等に踏まえた上での教育を徹底し、中学校、高校での子どもたちの能力をしっかりと伸ばす工夫を取り入れるよう」要望した。限られた教育予算の中では全てが満足できる状況を作り出すことは難しいことは承知しているが、「日本一の公教育」の実現を目指して行きたい。

教員の働き方改革は早急に取り組まなければならない課題である。令和4年度はこの問題について議論を行ったが十分とは言えなかった。大阪府だけで解決できる問題では無いが、知事提案の部活指導のあり方の改善などの様に大阪府独自でできるものもあると思われる。勤務時間の問題などは校長がしっかりと管理するべきものであると考えるが、教員の働き方についてはさらに議論を深めたい。

また、教員志望者がここ数年減少している。「教育は人なり」とも言われるように、優秀な教員の確保が大きな課題である。教員採用のあり方などを検討するとともに、人を育てることの意義や重要性などに加えて教育現場がさらに魅力的なものになるように今後、さらに議論を深めていきたい。

大阪府が抱える教育課題は本当に山積している。いろいろな行事や視察などには前年度以上に積極的に参加し、現場の状況をさらに把握し、今までの経験を活かして少しでも助言ができるように取組みたい。前年度の反省を踏まえて、今後ますます積極的に発言し、微力ではあるが大阪府の教育に貢献して行きたいと考えている。

令和4年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【森口久子教育委員】(令和2年10月1日就任)

教育委員会会議における取組み(主な発言の内容) 【会議出席 11回】

【令和5年度使用府立学校教科用図書採択要領及び令和5年度使用高等学校用教科用図書選定の手引きについて】(基本方針2、4関係)

*令和4年5月17日開催の教育委員会会議

- ・家庭科の共通教科において、今後、ジェンダーの偏りのないようにする視点が明確に文言として出ると、より良くなるのではと提言。

【もと府立西淀川高校を活用した新たな知的障がい支援学校の開校に伴う通学区域割の変更について】(基本方針3関係)

*令和4年6月30日開催の教育委員会会議

- ・新たな支援学校ができることに期待するとともに、通学区域の変更に関して丁寧な説明や対応を要望。

【令和4年度(令和4年4月1日以降同年8月31日まで)における教職員の懲戒処分の状況について】(基本方針6、7関係)

*令和4年9月26日開催の臨時教育委員会会議

- ・研修会について、精神科でリワークするときのカウンセリングを取り入れたり、若い人向けの矯正教育に使われる内容を深掘りして取り入れるなど、より効果的な研修会を開催するよう提言。

【令和5年度「府立学校に対する指示事項」及び「市町村教育委員会に対する指導・助言事項」について】(基本方針1、2、3、4、5関係)

*令和5年1月23日開催の教育委員会会議

- ・不登校の一因ともなる学童期にあらわれてくる精神疾患は個人的、医療的な内容になるため、学校現場でしっかり自分の体について学ぶことは重要であると提言。

【新型コロナウイルス感染症に係る対応について】(基本方針1、2、3、4、5関係)

*令和5年2月15日開催の教育委員会会議

- ・子どもたちの育みを考え、マスクのない時間帯を少しずつ増やし、子どもたち自身が自分の身体、感染についてより一層学ぶ機会だと捉えるよう提言。

その他の取組み

【各種行事の視察等】（基本方針1、4関係）

＊令和4年11月12日開催の「大阪府中学校生徒会サミット」

・府庁本会議場で開催されたサミットで、府内の中学校生徒会代表が「大阪からいじめをなくすために」をテーマに意見交換の様子を視察。

【その他】

＊総合教育会議への出席 3回（知事との総合教育会議 2回、部活動テーマの総合教育会議）

＊各種会議への出席 2回（市町村教育委員会教育長会議、府立学校長会）

自己点検及び評価

*コロナ禍の学校活動制限に関する意見

コロナ禍に於いて、教育活動の制限が子どもたちの心の成育に与える負の影響を懸念し、教育委員として、学校での黙食の緩和、活動制限緩和について、大阪府医師会としての知見も踏まえ、教育委員会会議にて提言した。

*学校生徒内科健診時の脱衣に係る課題

大阪府医師会にも協力を仰ぎ、内科健診の在り方検討会を立ち上げ、学校医と養護教諭等学校関係者との意見調整を図り、生徒保護者の理解を深めるよう尽力した。

*教職員の働き方、およびメンタルヘルスの課題

長時間労働の緩和の具体的方法、メンタル不調者への対応を、学校産業医の経験を基に教職員人事課や福利課に助言し、教育委員会会議で意見交換を行った。特に休職者の現場復帰に関して従来システムの改善に尽力した。

*眼科、耳鼻咽喉科検診の体制構築

府立高校全体で眼科、耳鼻咽喉科健診が実施されるよう、体制の構築を大阪府医師会の協力のもと継続して行っている。

*府立農芸高等学校視察

特色ある教育の現場を視察し、今後の府立高校の在り方について意見を述べた。